

# Aroma Spirit Call

ベイビートーク集

～赤ちゃん和妈妈の  
魂がつながる物語～



発行：木乃花konohana  
発行責任者：高居涼佳  
2021年1月14日 初版発行  
価格：200円(税込)



シンプルで素直な赤ちゃんからのメッセージは、  
自然の精霊 アロマちゃんのまっすぐなメッセージと共に、  
ストレートで奥深くお母さんの心に響きます。  
この赤ちゃんのアロマちゃんからのメッセージは  
「とっても面白い♥」「赤ちゃんってそんなこと考えてるの？」  
「もっと聞きたい〜！」と驚くほど好評で。

いつの間にか認定メッセンジャーの中でも  
赤ちゃん&MAMAのメッセージが一番たくさん  
お伝えしていたようで ご要望をいただいて  
より多くの方にスピリットコールを通じて聞いた  
赤ちゃんの世界を知ってほしいと感じ、今回冊子として  
まとめることとなりました。

冊子を製作するにあたり『木の葉堂』裕子ちゃんの  
可愛く優しいイラストがとっても大好きで  
この赤ちゃん&アロマの 不思議だけれど  
あったかくて魂が美しく輝く世界感を  
皆さんにお伝えできたらいいなと思い  
今回 イラストをお願いしました。

赤ちゃん&MAMA そしてアロマちゃんの  
魂につながる物語をごゆっくりと  
お楽しみ下さいね♪



アロマスピリットコール  
認定メッセンジャー  
アロマ道場入門編 認定講師  
高居涼佳 (すうちゃん)

## アロマメッセンジャー 高居涼佳 (すうちゃん)



皆さんはじめまして。  
アロマメッセンジャーの高居涼佳 (すうちゃん) です。  
木乃花konohana (コノハナ) 代表として  
女性の心と身体を美しく整え、自分軸を持って  
幸せに生きるための講座やセッションをしています。

その中の一つの活動として  
アロマを通して、本来の自分につながり、  
魂がふるえる メッセージをお伝えしている  
アロマ茶話会。  
本来の自分に繋がる場として、これまで沢山のの方に  
メッセージを届けてきました。

ともにアロマ道場で学んでいる鶴姫さんの  
助産院「ママの手」で開催する茶話会には、  
毎回、たくさんの赤ちゃん&MAMAが来てくれます。  
鶴姫さんのいる空間は、どんなママも赤ちゃんも  
「そのまんまでいいんだよ」と  
ただそのままであることを  
受け入れ、慈しみ、愛される存在となる  
あったかい場所になります。  
そんな鶴姫さんと助産院「ママの手」が大好きで  
いつも茶話会を開催させてもらっています。

そんな日に集まってきてくれる  
赤ちゃんたちのメッセージが、  
あまりに可愛くて、面白くて！！

## アロマスピリットコール (Aroma Spirit Call) とは

天然成分 100%の純粋なアロマ（自然の精霊）の力を借りて、あらゆるものと繋がり、対話をします。人だけでなく、動物、亡くなった方、言葉を発することができない赤ちゃん、胎児ちゃん、障がいのある方々とのコミュニケーションまでも可能にします。



泣いてばかりの息子が考えていることを知りたい

予想外のメッセージでママの泣き顔が笑顔に

(はるくん♡月齢3か月)

5人の可愛い赤ちゃんがママと参加してくれたアロマ茶話会。始まって自己紹介やアロマのお話をしていたところで、大きな声で泣き始めた赤ちゃんがいました。月齢3か月のはるくん。

お母さんは、抱っこして、あやしたり、おっぱいを飲ませようとするのだけれど口を背けて飲まず、抱っこしても泣き止む気配がありません。そうこうしているうちに、お母さんの顔色がどんどん曇ってきました。

様子を見てた助産師の鶴姫さんが、そばにいつて、色々とアドバイスをしているとはるくんが落ち着いてきたので、お母さんも少しほっとした様子でしたが、みんなの赤ちゃんも静かに遊んでいる中で、わが子だけが大きな声で泣いていて、おっぱいをあげても抱っこをしても泣き止まずにいたため、きつと自分を責めてやりきれない思いに駆られたのでしょう。そのお母さんが、そつと後ろの方をむいて肩を震わせ、泣いておられおる様子でした。

鶴姫さんが優しく「うんうん大丈夫だよ。ママのせいじゃないんだよ。」と笑顔で声をかけて下さり、しばらくやりとりをされて、少し落ち着かれたので、その親子からアロマスピリットロールをすることにしました。

(涼) 「はるくんも、お母さんも、少し落ち着かれたかな？」

(ママ) 「はい。すみません(涙) 本当にも、何をしても、よく泣いて・・・何をどうしてあげたらいいのかわからなくて・・・。この子がどんなことを考えているのか知りたくて今日参加しました。」と涙を拭きながら、お母さんが話してくれました。

(涼) 「今日は本当によく来てくれたねえ。はるくん落ち着いたね。じゃあ、はるくんにどんな事を考えているのか、アロマちゃんに聞いてみようか」

(ママ) 「はい。お願いします。」と涙を拭きながら、ようやくお母さんが顔をあげてこちらを見てくれました。

(a) 『**ぼくは、これから、ここでやりたいことが、ものすごくたくさんある!**』  
するとお母さんが、予想外のメッセージだったようで、目をまんまるにして

(ママ) 「えええ?!、そうなんですか! そんなにやりたい事がたくさんあるんですか? よかったあ。そうかあ、そうだったんだ、やりたいことが沢山あったんだ。」

(ママ) 「じゃあ、泣いてばかりのことはどうですか?」  
何度もうなすきながら、またお母さんが聞きました。

(涼) 「うん、じゃあそれを聞いてみるね。」

(涼) 「どうして泣いてばかりいるの? はるくん、何か、困ってるの?」



(a) 「んぐ…… (なんて説明しようか考えている様子) 。

はるくんのお母さんはもちろん、他のママたちも集中して静かに見守ります

(a) 「うんとね、じっけん してる!」

(マ) 「へえっ!? 実験????」お母さん、今まで泣いてたのに思わず吹き出して笑います。

これには、会場のお母さんたちも、みんなの目が、まんまるに〜!

「うん。ここはすごくたいへんなところ。だから、じっけんしてるの。」

ここで、お母さんたちの頭に「はてな?」が飛んでいて、はるくんがうまく説明できない様子だったので、ちょっとだけアロマちゃんからのメッセージの解説をさせてもらいました。

(涼) 「なんかね……。この世界(この世の中)って、出てきたばかりの赤ちゃんにとってすごく

大変なところなんだって。生まれてくる前の世界から、お母さんのおなかを通って、お外に出てきたらとにかく、大変らしいの。そしてはるくんはこれからやりたいことが、たくさん

たくさんあるから、まずはこの世界に慣れていくように、色々実験とかしてるらしいよ。

(マ) 「そっかぁ……。じゃ何にも心配しなくて、いいんですね……。私のことが嫌いとかでも

なくて、実験してるんだぁ……。毎日毎日、すごく泣くからこちらまで泣けてくるし、本当にしんどかったけどそうじゃないんだぁ。あー今日来て本当によかったです。」  
って言いながら、今度はお母さん、笑いながら涙がこぼれました。

さっきまでの、自分を責めて、悲しくて泣いていた、辛く冷たい涙ではなくて、心の底から

これからはるくんの未来を信じて、やりたい事をはるくんと共に、この大変?な世界で楽しんでいこう!とそんな決意も感じたとても温かい涙でした。

### はるくんのママより 後日談

本当に自分ひとりで考えすぎて、自分で自分を追いつめてたけど、……、  
すうちゃんがアロマちゃんに聞いてくれたことで育児に対して、はるくんに対しての関わり方が少しづつ「これでいいよね」って思えるようになってきました。  
家族みんなに囲まれて、色んな経験をさせてあげ、その中ではるくんがやりたいと思うことを見つけて楽しんで、はるくんらしく生きていってほしいと思います。

はるくん「じっけん」は すすんでますか?!

たいへんな世界だけど、楽しいことも

嬉しいことも いっぱいあるからね



ミルクを飲まなかった理由が、それ!?

お母さんが緩んだら、不思議なことがおきたの

(せくせくん♥月齢5か月)

茶話会にきてくれた時、お母さんには悩み事がありました。

(ママ) 「この子、なかなか体重が増えていかないんです・・・。

(ママ) 成長曲線の範囲内ではあるけど小さくって。それで、市の

担当の方に相談したら、『おっぱいだけで体重が増えていかないのなら、しばらくミルクを足しましょう。』って言われたんです。」と困った様子。

(ママ) 「この子、ミルク飲まないんです。ミルクを作っても、顔を背けて泣いて飲まないし・・・でも体重が増えないから、ミルク足すように指導されるし・・・。」

あれこれと試しているんだけど、どれも八方ふさがりで、お母さんは本当にどうしたらいいのかと悩んでいる様子でした。

(涼) 「そうなんだね・・・。おっぱい飲めないから体重増えないし、増えなかったらミルク足すように言われるし、わかっているけど、でも赤ちゃんは飲まないだから、どうしようもないよね。お母さんは一生懸命できることをやっているのに辛かったね。そしたら、赤ちゃんにどうしてミルクを飲まないのか聞いてみようか。」

お母さんは、小さくうなずきました。

(涼) 「さくちゃん、どうしてミルク飲まないのかな・・・?」

(a) 『なんなんだ!これは! (汗) 』

(涼) 「さくちゃん 『なんなんだ!これは!』ってすごく怒ってるよ。」

(ママ) お母さんは、意味が分からず、思わず聞き返します。

(ママ) 「え?何がですか?ミルクが?」

(涼) 「なんかずっと『なんなんだ、これは??』って言ってるのよ。乳首の感触が、口に入ってくるのが嫌で『何なんだ、これは。』ってすごく怒ってるみたい。」

(ママ) 「ああ、そっかあ・・・哺乳瓶の先が嫌だったんだ!それじゃ仕方ないですね・・・。」

(ママ) お母さんが納得したようにつぶやいたとき、助産師の鶴姫さんが

(鶴) 「体重は小さめだけど、おっぱいだけで成長曲線の中にいるし大丈夫だよ。おっぱいが大好きなんだね。さくちゃんみたいにおっぱい大好きな子、たくさんいるから大丈夫だよ。」

と声をかけて下さるとお母さんの表情がぐっと柔らかくなり、ほっと安堵した様子でした。

お母さんは、ミルクを飲まないことを納得されましたが、私はお母さんのおっぱいのうしろ側、つまり背中の部分に大きなエネルギーの詰まりを感じました。

そこには、お母さんのたくさんの口に出せない思いがくっついて、滞りとなり身体まで重くなっているように感じました。



私は、お母さんの背中にそっと手をあてて、身体からのメッセージをアロマスピリット  
コールで聞いてみました。

そのメッセージは、どこにも行き場がなくて、言葉にも出せないたくさんの思い・・・。

(涼) 「口に出せないたくさんの思いが詰まってるみたい。本当にこれまでしんどかったんだね。」

(涼) 「しんどいって言ったことある?」

とお母さんに尋ねると、お母さんは戸惑いながら

(マ) 「そんなこと、ホントないですね・・・。」と言われました。

そうすると、そんなママのため込んできた辛い思いをアロマが教えてくれました。

(a) 「はあー。もう疲れた!」「本当に疲れた」「もういやだ。全部おいて逃げ出したい。」

(a) 「甘いものが食べたい」「一人でゆっくり眠りたい!」「もっと一人の時間が欲しい」

”アロマちゃんが自分の気持ちを代弁してくれてる。”それを聞いているお母さんの目から  
涙がポロっとこぼれ落ちました。毎日、一人で頑張ってきてたんだね・・・。

(涼) 「はああ〜疲れた!」って大きな声で言ってみて。全部私の真似して言ってごらん。」

そうしたら、ママがぼつりぼつり、真似をして口に出してくれました。

(マ) 「はあ〜本当に疲れた」「全部放り出したい」「ゆっくり寝たい」「一人になりたい!」

これまでずっと我慢してきた言葉を口にすると、涙が溢れてきて、止まらなくなりました。

たくさん我慢してきた言葉を、一つ一つ涙とともに吐き出していくお母さん。全部吐き出し  
た後のお母さんの顔は、泣いていたけどすっきりした笑顔でした。

泣き終わった後で顔をあげたお母さんに、赤ちゃんを抱っこしていた鶴姫さんが、

(鶴) 「こうしてママが緩んだら、さくちゃんも緩むんだよ。さっきまでさくちゃん、背中が緊張

して固かったけれど、背中の緊張がとれたね。おなかの外に出てきても、お母さんと赤ちゃん  
は繋がっているからね。」と教えてくれました♥

### さくちゃんのおママより 後口談

あの時、本当に、八方ふさがりで本当にどうしたらいいかわからない状態でした。  
すうちちゃんが私の身体を見てくれると、気の流れが悪かったようです・・・

私の背中を擦りながら思いを声に出して伝えてくれて、「あー疲れた!」と言っ  
て、言葉にしたなら、スーと気持ち楽になり、涙が勝手に出てきました。

あれから、疲れた時には、声を出して「疲れたー!」って言うようになりまし  
た。そしたら張り詰めた気持ちも楽になりました♥

おっぱいだけで大丈夫って鶴姫さんに言ってもらえてほっとしたし、さくとも  
ゆっくりですが元気に育っています。



もう、その緒がなくなっちゃって、ママと

さくちゃんは、ずっとずっと、つながっているんだね

全然ハイハイせずに、立っちしてしまうのはなぜ？

赤ちゃんの返答に思わず爆笑と納得のママでした

(きくさくんパート2♥月齢8カ月)



前回の茶話会に、来てくれたさくくんとお母さん。  
あれから、お母さんも疲れたときは「ああー疲れた」って言えるようになって、お母さんも少し楽になった様子で、二度目の茶話会に来てくれました。

だけど、日々 迷いながらの子育てで、離乳食や日々のお世話も、これで本当にいいのかわからないままに毎日がすぎていつていることをお話してくれました。

そんな日常の中で、今一番気になっていることがあるそうで、「その事をアロマちゃんに聞いてみたい。」と茶話会に参加してくれたようです。

気になっていることは・・・さくくんが”ハイハイ”をしないこと。

(ママ) 「月齢がすすんで、周りの子たちがハイハイをし始めた頃だけど、さくとはほとんどハイハイをしていないのに、つかまり立ちのように 誰か大人の手持って、よいしょと身体を持ち上げてくれることを求めてくるんです。」

(ママ) 「ハイハイってしたほうがいいって聞くし、、どうしてハイハイしないで立とうとするのか、知りたくって。」

(涼) 「そうなんだーなるほど。わかった、じゃあ、さくくんに聞いてみようか。」

(涼) 「さくくん、どうしてハイハイせずに、立とうとするの?」

お母さんは、蓋をあけてアロマを香りメッセージを聞いている私をじっと見つめて、答えを待っていました。

(a) 『(あたり前でしょ!) →※言葉にはしてなかったけど鼻息とともに聞こえてきた感じ』

(a) 『立つと景色がせーせん 違うからだよ!』

(ママ) 「えええー!!」

(a) 『あのねえママ。ママも一回 やってみたらわかるよ!』

(ママ) 「えええー。でも、そりゃそうだよね!」

思わず、みんなが吹き出してしまいました。

(涼) 「納得の一言だったね。」

(ママ) 「ハイ。あ、それともう一つ聞きたい事というか、困っていることがあって。」

(涼) 「うんうん。何を困ってるの?」

(ママ) 「この子が、おっぱいをかじるようになって、、、、すぐ痛くて切れたりするし困ってて。」

鶴姫さんに相談して、だいぶましにはなっただんですけど、まだ噛む時があるんですよ。」

(涼) 「うわあ、かじられるのは痛い辛いもんねえ。なんでまだ噛むのか聞いてみようか。」



(涼) 「さくとくん、どうしておっぱい かじってしまったの？ママ、痛いって言ってるよ。」  
(a) 『・・・？ ボクかじってない。』

(涼) 「さくとくん、かじってないって言ってるわ。」

(マ) 「え〜！でもまだ時々かじられて、すごく痛いんですけど・・・」

(涼) 「さくとくん本人は、噛んでるって意識がないみたい。かじってないって言ってるから。だから噛んだとき』これは噛んでて痛いからやめてね。』ってその都度言うといいよ。」

(マ) 「そっか、本人はわかってない時かあ。じゃあ痛い時は、すぐ言うようにしてみます！」

(涼) 「あ、それとアロマちゃんがお母さんに伝えたいことがあるみたいだから、伝えるね。」

(マ) 「私にですか？ハイ、お願いします。」

(a) 『迷いながらも、毎日一生懸命 さくとくんのお世話をしているよね。遠回りに思えることもあるかもしれないけれど、確実に一歩づつ前に進んでいるからね。大丈夫だよ。それぞれにママはちゃんと向き合ってる。それでいいんだよ。』

(マ) 「そっかあ・・・。全然前にすすんでないような気がしてたけど、少しずつでも前に進んでいるんですね。このままでいいんですね・・・。ありがとうございます。」

さつきまで笑ってたお母さんの目から涙がこぼれ落ちました。でも悲しい涙ではありません。お母さんは、アロマちゃんの言葉をかみしめるように、うなずいてくれました。

### わいっわいっママより 後日談

以後、自宅でもタッチや歩くも練習もいっぱいするけど、時々ハイハイの練習も混ぜて、無理なく進もうと思って、日々さくとくん向き合ってます。  
おっぱいも、あれからだんだん噛まなくなっただんですよ。びっくり！

本当にひとりで考えすぎて、自分で自分を追いつめてたけど、  
すうちちゃんに、「離乳食や日々の子育ても』今やっていることは間違っていない。さくとくんの事、上のお姉ちゃんのこと、それぞれに対して真剣に向き合ってる。それでいい。』って言ってもらえて、日々悩んでる私だったけど、これでいい。間違っていないから頑張ろう。』って思えました。  
あれから、子育ての中で迷ったり困ったりしたら、すうちちゃんやアロマちゃんの言葉を思い出して、「大丈夫。」と自分に言い置きかせてます。

### さくとくんのお母さん

子育てしていると本当にいろんなことがある

いろんな感情も出てくる

それでも「これでいいよね」と思えるお母さん

でいてくれたら 本当にうれしいな ♡

それでもしんどい時は、助産院「ママの手」の

鶴姫さんや アロマちゃんに 会いにきてね

過去に辛いこともあったけどこういう運命だったから

今幸せだなんて思えるんだと思いました

(まぶくん♡月齢11か月)



初めて茶話会に来てくださったそらくんと、お母さん。

(マ) 「私、前の主人とは子どもができなくて。不妊治療してもできなかったんです。

再婚して、またすぐに不妊治療を始めたんですが、すぐに赤ちゃんを授かって。なのでこの子がどうしてうちに来てくれたかと、何を思っているのか 知りたいです。」

(涼) 「じゃあ、赤ちゃんに聞いてみるね。」と聞こうとすると・・・

赤ちゃんのメッセージを伝えてくれる時には、めずらしい「ハイランイラン」という女性性をアップさせ官能的な香りをはなつアロマちゃんが私を呼んでくれたので、不思議に思いながらも、「ハイランイラン」のアロマを手にとって香ってみました。

(a) 『赤ちゃんが来てくれた理由の前に、言いたいことがある。』

(涼) 「??? なんか、アロマちゃんが言いたいことがあるって言うてるよ」

(a) 『不妊治療を頑張ってきて大変だったね。でもね、今回はね、肌があったの♡肌♡うふ』  
って、アロマちゃんが笑っているんです。

(涼) 「ママとご主人の肌があったって言うてる。再婚後の治療はいらなかったみたい。

ともかく、いろんな面で相性がいいんだって。心もカラダもだって。いやーん♡」

(マ) ご本人も、まわりで聞いていたお母さんたちも、まさかのメッセージに爆笑でした。

(マ) 「ふふ、そうですね。再婚して、すぐ不妊治療を始めたんですが、3ヶ月で妊娠したから私たちもいらなかったのかもしれないね。って話してたんです。」

(涼) 「そうだったんだね。」

(a) 『それと、ご主人は、相手の気持ちを考えられる優しさを持った人で、迷いがいいね』

(マ) 「そうなんです。離婚から再婚するまでの間、落ち着くまで、どこか宙に浮いたような感じで毎日が不安だったけど、今の旦那さんと仲良くなり一緒になってからは、すごく落ち着くし、喋らなくてもいてくれるだけで安心感があるんです。だからアロマちゃんが言ってくれたように迷いがなく、トントンといろんなことが進んで、主人がその道を開いてくれている感じがします。」

(涼) 「本当に、素敵なお主人とこうして出会われたんですね。」

ご主人との心温まるお話を、たくさん聞かせていただきました。

さて、お母さんから本題の質問です。

(マ) 「ずっと不妊治療をして、この子も大変だったと思うけど、どうして私たちのところに来てくれたんでしょうか？何を考えてるのか聞いてみたいです。」

(a) 『うんとね。別に大変じゃなかった。』

(涼) 「そらくん自身はね、大変な思いして苦勞してママのところに来たとは思っていないみたいだね。」

(マ) 「そっかあ！そらが大変だと思っていたのは私たちだけで、そらは大変じゃなかったんだ。」  
(涼) 「そうそう、別にーって言ってるよ。」

(涼) 赤ちゃんは、あっさりそんなこと言うんですね。  
「じゃ、そらくんのこと、一回アロマちゃんに聞いてみるね。」

(a) 『そらくんは、大きな一本杉みたいな、まっすぐな芯をもって生きていける子。余計な心配は、そらくんの足力セになるよ。だから、うん。心配しなくて大丈夫！』

するとお母さんが、すごくほっとした様子でうなずいて言いました。

(マ) 「たしかに、そらのことは私が心配性で、もう、ちよっとしたことが心配で……。  
私がそらを守ってあげないと！という思いが強かったけど、そんなことないんですね。一本杉、わかる気がします。」

(a) 『3人ここまで迷いなくきたんだね。それが伝わってくる。この3人だから大丈夫。』

(マ) 「それを聞いて、なんかすんごく安心しました。なんか過去に辛いこともあったけどこういう運命だったんかもなって。だから今幸せだなんて思えるんだ……って思いました。」  
(涼) 「本当だね。今が幸せって思えていることが、ほんとに幸せだあ。運命かあ、きつとそうなんだろうね。よかったね。」

肌が合う！は、まさかのメッセージで、思わず笑ってしまいましたが、お話を聞いていてご主人がいつも彼女を氣遣い、優しくしてくれて、どんな時も包み込むように見守ってくれている素敵なお夫婦なんだなと感じました。アロマちゃんの「大丈夫」が力強かったですね。きつと大丈夫。毎日を楽しんで下さいね！

### そらくんのママより 後日談

私が心配性なこともあってか、私がそらを守ってあげなきゃいけない。っていう思いが強かったけど、アロマちゃんに言われて、そりゃ親なのである程度は心配もするけど、まあそんなに心配する必要ないんだな。とほっとしました。  
温かい気持ちでそっと傍にいてあげたら、そらはそらなりで育っていつってくれるんかなって思いました。

そらくんがきてくれて ママは  
今が 本当に幸せなんだって  
ママのところに来てくれて ありがとうね



## ママが まだ見つけていない楽しみがあることを

知らせるために やってきてくれた赤ちゃん

(たいちゃん♡月齢4か月)



お兄ちゃんが、お家でパパとお留守番をしている間に、茶話会に来てくれた4か月のたいちゃんとお母さん。

予定日より1週間早いお母さんのお誕生日の前日、元気に生まれてきてくれました。

(ママ) 「妊娠中は、いつも赤ちゃんは大丈夫か、ちゃんと産めるか心配ばかりしていました。」  
と言われたお母さん。

実は、たいちゃんを授かる前に、欲しくて仕方なかった2人目の赤ちゃんがやっとできて喜んだのも束の間、流産し、手術を受けなければならなかったのだそうす

(ママ) 「なんで自分がこんな辛い目に合わないといけないんだ。」

と、悲しみのどん底にいたお母さん。そんなお母さんを悲しみから救ってくれたのが、たいちゃんだったのです。

(ママ) 「どうして、私のもとに来てくれたのか聞きたいです。」

私はうなずいて、たいちゃんに直接アロマスピリットコールで話しかけて聞いてみました。

(a) 『**ぼくは、ママが楽しみにしていることを見にきたんだよ。**』

お母さんは今すぐ思い当たるようなことがない様子で

(ママ) 「えー。なんだろう？」と不思議な様子でしたが

(a) 『**ママがね、まだ見つけていない楽しみが、これからあることを知らせにきたよ。**』

というたいちゃんからのメッセージだったので、お母さんは

(ママ) 「じゃあ、それがこれから見つかるんですね。」

と言って、にっこり笑ってくれました。

(ママ) 「今日はいないんですけど、上にお兄ちゃんがいるので、その子が考えていることや、たいちゃんが考えていることかも、聞いてもらうことができますか?」

と聞かれたので、

(涼) 「もちろん聞けるよ♡お兄ちゃんの写真はある?なくても聞くことはできるんだけど、写真があるほうが、イメージできて、より繊細にメッセージが受け取れるから。」

というと、スマホに保存してあったお兄ちゃんの写真を見せてくれました。

まずは上のお兄ちゃんのいつちゃんのことを聞いてみると

(a) 『**いつちゃんはね。すごく慎重派でね。なんでも確認したいの。それで石橋をたたいて渡るから、見ている方はそんなに慎重にならなくてもって思うけど、彼はそれでいろいろな経験をして、ひとつひとつ自分のものにして成長していくの。**』

と教えてくれました。

それから、この日一緒にきてくれた 4か月のたいちゃん。

(a) 「たいちゃんはね、とにかく豪快。大海原に向かって、船で向かうぞ！って感じで、すごくこれからの自分自身の旅に、わくわくしてるよ。なんの心配も不安もないみたいね。」  
と話してくれました。

(マ) 「まさに・・・この子たちは、それぞれそんな感じですよ・・・」

と、兄弟でも全く性格の違う2人に納得の様子で、笑いながらうなずいておられました。

そして、最後にお母さんが聞きたかったのは、自分自身のこと。

(マ) 「私は自分に自信がなくて・・・。そして心配性なので、それをどうにかしたいんです。」

そんなお母さんの思いを、アロマちゃんに聞いてみると

(a) 「本当に今、ご自身が『自分の軸』を持ちたいと感じておられるんですね。ご自身が思われる今がちょうどそのタイミングで、そのためには『学び』が必要です。必ずそれもあなたが求めるものと出会えます。」

という、近い未来に向けてのメッセージでした。

お母さんのお誕生日の前日に、生まれてきてくれた たいちゃん。

たいちゃんが運んできてくれるご縁は、きつと大好きなママへのたいちゃんからの大きな大きな プレゼントなのかもしれませんね ♡

たいちゃんと いっちゃんのみママより 後日談

茶話会の際は、「これから見つかるって何だろう」「と、????ばかりが頭に浮かんでいましたが、今思い返せば、お空の子の妊娠がなかったら、現在楽しみながら学んでいる、コミュニケーションの勉強の機会を逃していたかもしれません。

ああ、きつと、ここで出会った学びや仲間繋ぐために、あの子がやってきてくれたんだなあ・・・と思うと心が温かくなります。

たいちゃん ご縁をつないでくれる

素敵な役割を持って ママのLIFE

きてくれたんだね ♡ ありがとう

## 建具をバンバン叩いていた男の子が

### アロマちゃんからのメッセージで大変化！

(とうりくん♥月齢1歳10カ月)



茶話会に来てくれたお母さんと とうりくん。

お母さんは、ここに笑顔で、茶話会をとても楽しみにしてくれていた様子でした。

茶話会が始まって、一人一人にメッセージを伝え始めてしばらくすると、元気なとうりくんは、あちこちへと動き出しました。

お母さんはこちらが気になりながらも、とうりくんを呼んだり、他の参加者さんのかばんを触ろうとしている とうりくんを引きとめたり・・・。

お母さんと赤ちゃんが集まる助産院。この日も、赤ちゃんや小さなお子さんもおられて私はそんなこともあるわね。と、さほど気にせず茶話会をすすめていました。

そうしているうちに、とうりくんがますます激しい動きをするようになり、お座敷の建具をバンバンと手で叩き始めました。さすがに大きな音なので、お母さんも

(ママ) 「だめよ、叩いたらだめ！」

と、とうりくに言い聞かせるのですが、その一瞬はやめても、またすぐニコニコ楽しそうにバンバンと大きな音をたてながら、建具を叩きます。何度も叩いているうちにその建具の亚克力が砕ごと外れてしまいました。

とうりくんのつぶらな瞳は、まだまだ色々やうな雰囲気。お母さんも、とうりくんが建具に近づくと、慌てて追いかけていつて後ろから「ダメ」と手をつかんだり、抱っこして建具の前からおもちゃのある場所へ移動させたりという繰り返しでした。

お母さんととうりくんにメッセージを受け取る順番が回ってきました。

(ママ) 「いつもこんな感じで、大変なんです。」

と、お母さんはとても困った様子でした。

(涼) 「じゃあ、アロマちゃんにどうしたらいいか、聞いてみようか。」

というと、お母さんが大きくうなずきました。

「とうりくん、お母さんにいいたいことあるかなあ。教えてくれる？」

(a) 「ママは ぼくをみていない。」

(ママ) 「えっ!？」

お母さんが、どういう意味なんだろうという感じで、とうりくんを見つめます。

そうすると、アロマちゃんがもう一度言いました。

(a) 「ぼくをみて! ぼくをめをみて!」

(涼) 「とうりくん、『僕のことを見て!!!』って、お母さんに言ってるね。」

(涼) 「とうりくんが何度言っても言うことを聞いてくれない時、例えば、さっきのように『触ったらダメだよ。』って伝える時、後ろからとか、遠くから』とうり、だめだよ。』

って言ってないかな?」

するとお母さんが、びっくりしたように

(マ) 「あっ、言ってます!」

(涼) 「赤ちゃんだから、まだ言葉としては理解していないかもしれないけど、触ったら危ないしダメだよって伝えるとき、お母さんがとうりくんの目を見て伝えたら、とうりくんにももっと伝わるんじゃないかな。お母さんは後ろから見ながら『だめだよー』って声をかけても子どもからは見えないもんね。とうりくん、もっとお母さんに、ほくのことを見てほしかったみたいだね!」

(マ) 「そっかぁ。。。わかりました。目を見るって意識してやってみます!」

後日、鶴姫さんから聞いたのですが、それから数日後の助産院「ママの手」でのヨガに、とうりくとママが来てくれました。とうりくん、また建具を叩き出したんです。そして、鶴姫さんと目が合うと、いたずらな表情でにこーって笑ったんだそうです。

(鶴) その目をみた瞬間、

「ああ、この子は全てわかってるんだ!」

と直感したそうです。すぐお母さんがやってきて、とうりくんの目をまっすぐ見て

(マ) 「とうり、叩いたらだめだよ。」

というと、スッとやめたんです。その時とうりくん何だか意味深な顔をしていたんだって♡お母さんはその後、ヨガに集中されて、とうりくんはおもちゃで楽しく遊んで帰っていったそうですよ。

### とうりくんのママと 後日談

あれからは、教えてもらったように、とうりに何かを伝えるときは、とうりの目を見て、伝えるようにしました。

そうすると、今まで何度言っても聞いてくれなかったことが、きちんと伝わるようになってきたんです。目を見て話すと、大事なことなんですね。



とうりくん ママと 愛のタクト♡してるかな  
ママも とうりくと通じ合ったことが  
とってもとっても 嬉しそうだよ

上の子がいつも私にべったりだった理由がわかった！

お腹の赤ちゃんも、そんなこと思ってたんですね

(キキちゃん2歳&29週目の胎児ちゃん)

もうすぐお姉ちゃんになるキキちゃんと一緒に、茶話会に来てくれた妊娠29週のお母さん。

お母さんが座ると、そのお膝の上にちよこんと座っておとなしくお母さんと一緒にお話を聞いてくれました。

キキちゃんに「お話を聞いてくれてるんだね。」と話しかけると、恥ずかしそうに小さくうなずきました。するとお母さんが、こんなお話をしてくれました。

(マ) 「私が友達とお喋りしていると、いつも怒るんですよ。私の顔を両手で持って、自分の方に顔をぐいっと向けたりするんです……。喋ったらダメって感じで。」

遊びに行ってもお母さんから全く離れられず、トイシですら離れると泣くんだとか。

(涼) 「そうなんだあ。お母さんのお顔を持って、そんなことしてるの？じゃあ、キキちゃんが何を考えているのか、聞いてみようか。」

(涼) 「キキちゃん、何を考えているのかな？」

アロマを香りながらスピリットコールで聞いてみると、おとなしそうなキキちゃんからは全く想像できないくらい 大きく激しい声で、キキちゃんが叫んでいたんです。

(a) 『わたしは、ママのハートが、もっとほしいのぉー！』

(涼) 「そっか、そっか。ママのハートが欲しかったんだね。お母さん『ママのハートがもっと欲しいのー！』って、キキちゃん、めっちゃくちゃ心の声で叫んでるよ……。」

(マ) 「ええっ?! ハートですか?! お話とかは聞いてると思うんだけど……?」

と、お母さんが首をかしげておられるので、もう一度聞いてみると

(a) 『ママのハートが、もっともっと、ぜーんぶほしいのぉー！』

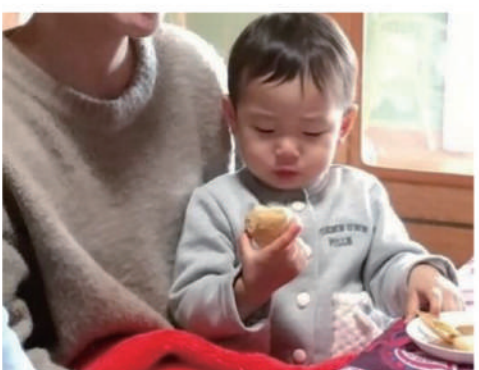
ってキキちゃんが、また叫ぶように言うんです。そこで、お母さんにこんなことを聞いてみました。

(涼) 「お母さん、キキちゃんのお世話やお話を聞く時に、いつも何か別のことをやりながら話を聞いたりお世話したり、してないかな？」

するとお母さんが、ハッとした顔をして言いました。

「そういえば、この子のことをしている時、常に別のことをやりながらやっています。」

(涼) 「そうだよね。私も経験あるけど、子育てしている時、家の家事もしないといけないから、いつも、何かを同時進行でやっていかないと、ほんとに一日に用事が全部終わらないものねえ……。」





キキちゃんのお母さんも、周りにいるお母さんたちも、大きくうなずきました。

子育ての経験がある方なら、誰もが経験してこられたことでしょう。

洗濯物をたたみながら今夜の献立を考えて、おんぶをしながらお料理を作り、おむつを交換しながら上の子の話を聞いて、おっぱいをあげる時にやっと座れて、ラインの返信をする。お母さんって、毎日フル稼働で動いているものね。

(涼) 「それはすごくよくわかるんだけど・・・キキちゃんがね。ママに私のことだけを見て！ママのハートを全部わたしにちょうだい。って言ってるの。しかも叫んでいるくらいかなり切実に訴えているようだから・・・だから、赤ちゃんが生まれるまでのしばらくの間キキちゃんの話を書いたりお世話をするときは、他のことをするのをやめて、キキちゃんのことだけを考えて、接してみたらどうかかな？」

と提案してみると、お母さんが

(マ) 「はい、そうですね。そんなに訴えてたなんて全然知りませんでした。そうしてみます！」と力強く言ってくれました。

よかったね、キキちゃん♥それをずっと待っていたんだね！

キキちゃんが少し はにかみながら、私を見つめてくれたような気がしました♪

するとお母さんが、今度はおなかの赤ちゃんのことも聞きたいと言われました。

(マ) 「今、赤ちゃんが逆子みたいで、なかなか逆子がなおらなくて。」

(涼) 「そっか、逆子なんだね。じゃあ、お腹の赤ちゃんに聞いてみようか。」

そして、今度は、お母さんの身体を通じて中に入るように、お腹の中にいる赤ちゃんに向かって、スピリットコールを試してみました。

(涼) 「赤ちゃんはすごくゆったりしてるね。『赤ちゃん 今逆向きにいるのはどうしてかな？』どうも赤ちゃんから伝わってくる様子では、とくに苦ではなく、こっちの向きがいいからということなのかな？そしてなかなかの頑固な赤ちゃんみたい・・・。」

(a) 『ママのうえのほうがあったかいから・・・、したはつめたいの。』

そう赤ちゃんが教えてくれたので、お母さんに伝えてみました。

(涼) 「こっちの向きがいいんだって。それと上のほうがあったかくて、下は冷たいって言ってるんだけど・・・。お母さん、今身体が少し冷えてるのかもしれないね。」

(マ) 「えーっ！実はこないだ産院の定期健診で、助産師さんから『ちょっと冷えてるね』って言われたばかりです。」とお母さんが驚いたように言いました。

(涼) 「そうなんだね。そしたら、それだけが原因ではないかもしれないけど、赤ちゃんも冷たいって言ってるから、、、鶴姫さんのところで開催されているヨガに参加したり、冷え対策を教えてくださいといいいね。」

(マ) 「そうなんです。冷えてるって言われてから、レッグウォーマーしたりしてるんです。」

と、お母さんが言われたのですが、

(涼) 「うーん、えっとね。赤ちゃんが中の方が冷たいって言ってる感じなの。だからレッグウォー

「マーマーもいいんだけど、中から温める方法を教えてもらおうといいと思うよ。」

(涼)「それと、お腹の赤ちゃんがたくさん話しかけてほしいみたい」

そこで鶴姫さんが、助産院ママの手で開催しているヨガの日程や、子宮を温めてくれる三陰交のツボを教えてくださいました。  
お腹の赤ちゃん、あったかくなって、ぐるんと回ってくれるといいね。

その後、1週間ほどして、助産院「ママの手」でのヨガの日。また、ママと一緒にキキちゃんが出てくれました。その時のことを、後日、鶴姫さんが私に話してくれました。

茶話会の時は、ひと時たりともお母さんの膝の上から離れなかったキキちゃんが、ヨガの時一人で同じ部屋にあるお母ちゃんのある所まで行って、遊んでいたんだそうです♥  
鶴姫さんがお母さんにお話を聞くと、あれからキキちゃんとお話するときやお世話をするときは、キキちゃんのお顔を見て、キキちゃんだけに集中するようにしていたんだって。

キキちゃんの思いが、お母さんに通じてよかったね。

お母さんがゆったりお話ししてくれて、キキちゃんだけのことを思ってくれていると、その思いが伝わるんだね♥

### キキちゃんママのその後

逆子になっていることを、赤ちゃんが「この向きがいいからということかな?」と言われた時、実は、経膈分娩に対して、私自身が一人目の出産に感じた恐怖感がある為、お腹の子がこの向きを選んでいいのでは? (逆子のままだと帝王切開になる為) と思ったのです。

結局、あれからできる限りの冷え対策はしましたが、逆子は治らず、帝王切開で生まれました。けれど、今回は赤ちゃんが健康に産まれてきてくれて、私自身の気持ちもとても安定していました。

寝れなかりが、おっぱいちぎれそーだろーが、上の子と下の子がいる2人のママになれたことで、幸せいっぱい毎日でした。

安藤さんにも沢山おっぱいの事について相談のってもらい、はげましてもらいありがとうございました。

またキキのことは、茶話会で赤ちゃんが生まれてから、できるだけ可能な時は赤ちゃんを旦那や実母に抱っこしてもらおうようにして、キキと二人でいる時間を、毎日どこかで作るよう心がけたり、里帰り中は実母の協力のもと、おっぱいと夜の寝かしつけ以外はキキと関わりました。  
すると、すぐに効果ができました。

マーマー!マーマー!と言わなくなり、お友達の家に行ったり、鶴姫さんの「ママの手」のヨガに遊びにいったときも、私から離れて、一人でまたはお友達と遊べるようになり、本当にわかりやすい結果ができました。それを機に上の子が、旦那にもすこくなくつくようになり、本当にお聞きしてよかったです

ママの思いは きっと伝わる★

赤ちゃんの思いも きっと伝わる♥



冊子挿絵  
旅する絵描き 木の葉堂  
白澤裕子



オーダーイラストや名刺製作、  
壁画、似顔絵など・・・人やモノの輝きや物語を、  
淡くカラフルな色で表現するのが大好きです。  
幼少期から繊細で生きづらく、悩みでがんじがらめに  
なっていた人生を、アートで切り開いてきた経験から、  
アートセラピーや色で遊ぼうお絵描きワークショップ  
なども開催しています。  
現在は子育てしながら、日々いろいろな気持ちの色を  
旅するように絵を描き描き中。

誰にも言えないような気持ちのときも、  
寄り添ってくれるアートの底力。  
遊びごころや感じることの大切さ。  
そもそも一人一人に力があること。

それぞれの個性の爆発する姿をみたくて活動中。



エッセンシャルオイルとは?

エッセンシャルオイル(精油)とは、植物の  
花、葉、茎、根、果皮、樹脂などからとれる  
天然の芳香性物質です。

アロマ茶話会とは

天然のエッセンシャルオイルの香りに癒されながら  
あなた自身をありのままに感じ  
幸せに生きるために 今一番必要な  
メッセージをお伝えしています。

アロマを通して 本来の自分とつながり  
あなたの潜在意識の奥にある  
「魂」からのメッセージを  
受け取ることができます。



3~5人の少人数で一人お一人に  
現在、未来、過去  
場所や空間にとらわれず  
解放されたいトラウマや どんなご相談にも  
思いもよらない宇宙的視点と  
アロマちゃんからのインスピレーションにより  
前向きに進むための  
大きな後押しを お手伝いします

当日集う方々は、不思議に  
自分のお悩みとシンクロしたり  
自分自身の大きな気づきに  
つながることが多いのも  
茶話会の魅力となっています。

